



www.city.tajimi.lg.jp/ishoken/

ishoken

ishoken gallery

Masato Komai

駒井正人



2017年2月10日(金)
— 3月12日(日)

Open 9:00-17:00 入場無料 会期中無休

多治見市陶磁器意匠研究所
〒507-0803 岐阜県多治見市美坂町2-77
Tel. 0572-22-4731
Fax.0572-25-0983

vol.

03

専門に美術を勉強したことのなかった駒井正人が、大学の商学部を卒業し意匠研究所に入所したのは、私が教育大学に転職をする半年前であった。わずかの期間ではあったが、私は彼の造形力に目を見張った。美大、芸大の出身者がほとんどだった教室の中で彼の造形力は傑出していたのだ。

私は教育大学で、美大受験のためのデッサンをしてきた学生と、美術に関する小論文で入ってきた学生を同じ教室で教えたが、駒井正人との出会いの経験が私の授業に自信と活力を与えたと思っている。

彼は数年後に国際陶磁器展美濃でグランプリを獲得した。その作品は急須であるが、急須ではない。正確に言えば急須であるが急須以上に美術品である。機能一辺倒ではなく美だけでもない「自分の精神の形態」を探ったのだろうか。それは日本の文化の中で育まれた日本人の精神のあり方と通ずる美意識を己に向かって定着させ、確認するような制作作業があったと私は理解する。他者との摩擦を起しかねない彼の内なる「自己」は自分に向かう刃である。彼の作品には緻密な秩序があるが、その後ろに秩序を壊してしまいたい「エッジの効いた表現への欲求」をも感じる。それが美と機能を拮抗するように対峙させ、その試練の果てに生まれたであろう精神性の高い作品は凜とした空気を生むのだ。

幸いにも彼は意匠研の職員である。研究生が先輩の背中から学んでくれることを願うばかりである。

多治見市陶磁器意匠研究所 所長 中島晴美



駒井正人
Masato Komai

1980年 山梨県生まれ
2003年 早稲田大学商学部 卒業
2005年 多治見市陶磁器意匠研究所 修了
現在 多治見市陶磁器意匠研究所 勤務

展覧会

2006年 個展 ギャラリー陶林春窯
2010年 個展 ギャラリー目黒陶芸館 ('12 '15)
2011年 "今のうつわこれからの器" 多治見市文化工房ギャラリー・ヴォイス
"東海現代陶芸 思考する新世代展" 愛知県陶磁美術館
2012年 "MINO CERAMICS NOW 2012" 岐阜県現代陶芸美術館
2013年 個展 SAVOIR VIVRE
2014年 個展 ギャラリー数寄 ('16)
"美濃陶芸の明日展" 多治見市美濃焼ミュージアム ('15)
"現代・陶芸現象" 茨城県陶芸美術館
"美濃陶磁100" 多治見市産業文化センター
2015年 "本色共感:東アジア伝統陶芸" 京畿陶磁博物館/韓国
2016年 "現代陶芸・案内(ガイド)" 茨城県陶芸美術館

受賞

2007年 第2回織部クラフトデザイン大賞 審査員特別賞
2008年 第8回国際陶磁器展美濃 陶磁器デザイン部門B 入選
2011年 第9回国際陶磁器展美濃 グランプリ
2016年 第6回菊池ビエンナーレ入選

関連催事関係情報

■ 多治見市陶磁器意匠研究所 卒業制作展 2017
第58期デザインコース・技術コース 第14期セラミックスラボ

会期:2017年2月17日(金)~19日(日) 9:00~17:00 入場無料
会場:セラミックパークMINO 1F展示ホール
〒507-0801 岐阜県多治見市東町 4-2-5 Tel.0572-28-3200

□ 多治見市陶磁器意匠研究所 進級制作展 2017
第59期デザインコース・技術コース

□ 多治見市陶磁器意匠研究所 市民講座展 2017
「花器を作って花を生けよう」

会期:2017年2月17日(金)~19日(日) 9:00~17:00 入場無料
会場:多治見市陶磁器意匠研究所

多治見市陶磁器意匠研究所 〒507-0803 岐阜県多治見市美坂町2-77
Tel.0572-22-4731 Fax.0572-25-0983
Email:ishoken-jinzai@city.tajimi.lg.jp

*展覧会により、会期と会場が異なりますのでご注意ください。

◇ 半原版画館コレクション 小さな和食器「のぞぎ」展
◇ K氏コレクション展

会期:2017年2月17日(金)~3月12日(日) 9:00~17:00 入場無料
会場:多治見市陶磁器意匠研究所

